

第1回

# ほどがや会議

ガヤガヤ



健康

子ども

文化  
芸術

国際

みどり

食と農

防災

2020年 2月8日

開催時間 : 13:30~16:30

※交流会 : 16:30~18:00

会場 : かながわアートホール

参加者 : 73名

ごみ

スポーツ

つながり



## “私たちが暮らす保土ヶ谷を、 もっと面白くするアイデアを！”

### 地域のアイデアが生まれ、形になっていく道のり

保土ヶ谷の今後をよりよくしていくため、私たちには今何ができるでしょうか？

私たちにも地域にもよい未来をつくるには、みんながワクワクするアイデアがほしいですね。

そのためには、保土ヶ谷の色々な当事者が一人ひとり対等に話し合い、アイデアを出し合える、継続的な地域と人の関係をつくるのが大切です。



### そこで、「ほどがや会議」が生まれました。

「ほどがや会議」は、

地域 みんなで集まり **まざり**、互いを知り合い、**まなび**、

保土ヶ谷の新しいワクワクを **うみだす** 会議。



話し合ったアイデアは、動いて実現することで、更に次のアイデアが生まれてくると思います。いきなり立派なことでもなく、ちょっとずつ出会ったみんなと新しい活動を形にしていくことができれば、10年後にはきっと今よりもっと素敵な保土ヶ谷になるでしょう。

保土ヶ谷区役所地域振興課  
大山課長より、  
「ほどがや会議」に寄せて

横浜市役所に奉職して三十数年が経ち、間もなく定年を迎えます。これまでのことを振り返ると、公私ともにいろいろなことがありました。嬉しいことも、苦しいことも、喜び合うことも、悲しみを分かち合うことも。特に十数年前に妻を病気で亡くしてから男手一つで三人の子どもを育てたことは、大きな試練であり自分の人生を考える岐路ともなりました。こうした人生の試練や岐路を思い起こすと、いつの瞬間も決して一人ではなかったことに気づかされます。常に苦難を共にする仲間がいました。励ましあう家族がいました。何かと助け合える同僚がいました。冗談を言って哄笑できる友人がいました。

**人は一人では生きていけないものです。何事かを為そうとすると必ず仲間が必要です。**

自分の味方をどれだけたくさん作ることでできるか、それが成功の秘訣だと思います。集まった全員が役割を分担して、知恵を出し合い、長所を出し合い、短所を補う。そうする中で自分たちの新しい可能性に気づき、未知の地平を切り拓いていく。

「ほどがや会議」が皆さんの新しい出会いの場となり、それぞれの活動が飛翔する契機となり続けることを祈ってやみません。



# 当日プログラム

ワイワイガヤガヤ楽しめるプログラムで、保土ケ谷の“これから”をみんなでじっくり考えることができました。

## 1. まざる トークフォークダンス

会場に大きな二重の円◎を2つつくって、「トークフォークダンス」踊るフォークダンスではなくて、向かい合って座った2人で1人1分ずつ、出されたお題に答えて相手はただひたすら聞く。お互い伝えあったら、次の席にひとつ移動。面白い質問を交えながら、地域の色々な人たちの色々な一面を知り合える時間になりました。

土の中の「ほどじゃが」はどんな気持ち？

## 事前説明会

(ファシリテーター向け)

会議で各グループのファシリテーターを務めるメンバーは、少し早めに集まって、会議の進め方のポイントを確認しました。



## 2. まなぶ 活動紹介☆

「ほどガヤ会議」初開催の今回は、この1年間に保土ケ谷で実施された3つの活動の事例紹介から、初めて知る地域の取り組みや関係者の想いを知りました。

- ほどがやサンプラザプロジェクト（学生活動）
- みんなのひろば（地域の環境を考える連続講座）
- 地域デザインセミナー（施設職員研修）

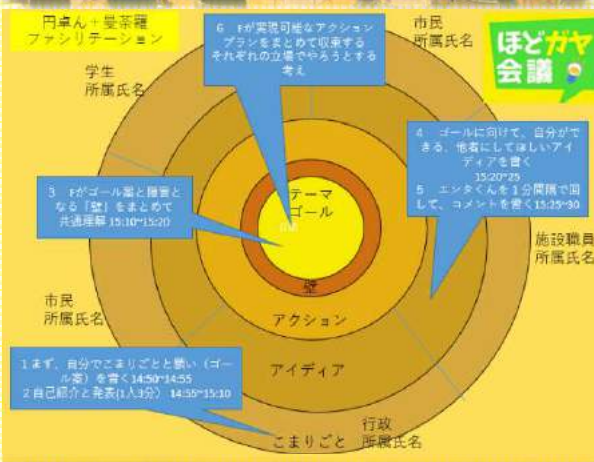


## 3. うみだす ほどガヤ会議

会場も温まってきたところで「ほどガヤ会議」。「えんたくん」という段ボールのテーブルを、みんなで囲んでできる即席の円卓会議。10個のテーマにまつわる“できたらいいな”というアイデアが、より具体的な地域の活動の種となるように、活動の背景に必要な「こまりごと（課題）」や、目指していきたいゴールを設定して議論を深めました。

【会議テーマ】

- |         |        |       |
|---------|--------|-------|
| 1 文化・芸術 | 2 スポーツ | 3 防災  |
| 4 ごみ    | 5 つながり | 6 みどり |
| 7 食と農   | 8 国際   | 9 子ども |
| 10 健康   |        |       |



## 交流会

会議終了後は交流会を開催。会議の熱がまだ残る中、改めて自己紹介やお互いの活動に誘い合ったり、それぞれに楽しい時間を過ごしました。



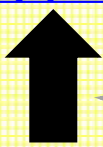
次ページからは、各テーマグループの「えんたくん」の記録だにゃ



# ①文化・芸術



**[ゴール]**  
小学校単位で巡回型の文化講座をやる(放課後)



[乗り越える壁]  
 ・ 協力者(こどもをとりまく人)  
 ・ 小学校の受け入れ

**[アクションプラン]**

1. 集まる：各分野でこどもたちとつながりたい人+学校とつながっている人(学校地域コーディネーター、先生のOB、自治会長、学援隊など)
2. 話し合って方向性をまとめる。
3. 利用できる仕組みを調べる。(受け入れ側に理解してもらう)
4. 必要物品を揃える。
5. 説明資料の作成
6. 教えるスキルUP
7. 学校への働きかけ！！

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の先生のOBに積極的に動いてもらい、協力援助する。</li> <li>・子供と一緒に盤、駒作りから始める。このことによって道具を大切に！！</li> <li>・学校の授業や、校内に一般者が入校できる日・時間を設け、生徒と触れ合う機会を多く作りたい。←チンドン屋を作りましょう！</li> <li>・補助金等で楽器を買う。各家庭に眠っている楽器を発掘する。←学校に眠っている楽器は？</li> <li>・親子で大切な歌の歌合戦(伴奏はボランティア)←コミハも利用。学校や地区センなどでできそう。</li> </ul> |
| こまごごと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・囲碁・将棋をする人が少なく成って来た。将来が心配。子どもを対象に大会を開きたい。将来的に！</li> <li>・最近の子は伝統芸能に興味がない。時間をかけて(10年~20年)磨くことがきらい。(すぐ結果を求める)</li> <li>・同土を見つけるのが難しい。必要な道具や練習の場がない。お金がかかる。教えるノウハウ不足。</li> <li>・世代を超えて何かを作ったり歌ったりする機会が少なすぎる。クラブ活動、子ども(小学校)を巻き込む。</li> </ul>                             |

# ②スポーツ



**[ゴール]**  
だれでもどこでもスポーツができる保土ヶ谷



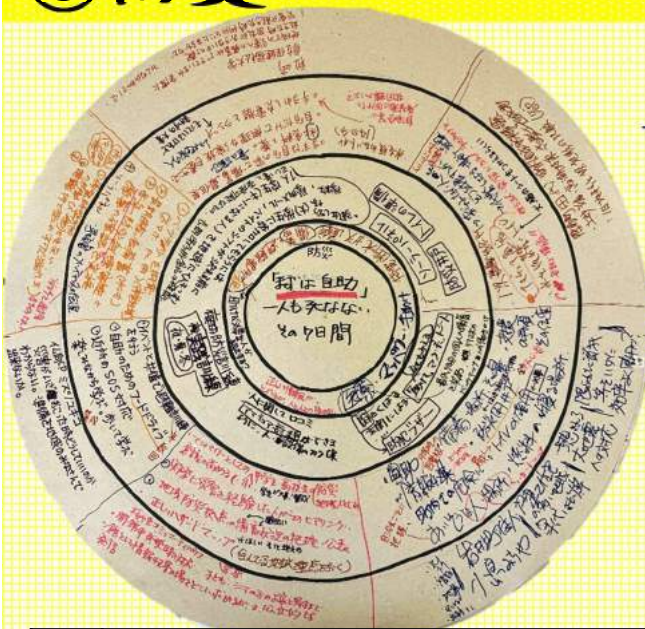
[乗り越える壁]  
 ・ 仲間がない  
 ・ マネジメントの壁  
 ・ 場所がない

**[アクションプラン]**

- ・スポーツに関する講演会 広報
- ・遊びながらスポーツできる 定期的なイベントの開催 (仲間づくり)
- ・サッカー、バスケ、ヨガ、ボッチャ、ゲートボール 見学
- ・オリパラ種目体験 スポーツまつり
- ・場所・人材の情報提供 練習見学→交流会、グラウンド開放
- ・スポーツをやってみたくなる動画+デザイナーはじめて向け

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁止事項を少なくして自由に遊べる場を増やす。・FCグラウンドでドロケイ大会、親子対抗運動会</li> <li>・親子トレーニング教室(孫)、保育付きママさん教室…ボランティアインストラクター←手伝いたい</li> <li>・小学生と遊びながらスポーツを教える人、老若男女誰でも参加できるスポーツイベントの開催</li> <li>・今日の「ほどガヤ会議」メンバーとの情報交換 何か企画を検討 キッズ教室、保土ヶ谷スポーツセンター出張教室←いいね！・横浜FC見学・コミハ、色々なスポーツ施設との連携</li> <li>・クラブハウス/練習場拡大←見学会をやりたいね！人工芝を借りたいです。</li> </ul> |
| こまごごと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの道具貸出し、外で遊ばせるいい場所。企業、自治会、学校、みんなが参加できる組織。</li> <li>・スポーツ気楽にたのしくできることを主題にする場所。</li> <li>・場所がない。⇒公園や道路で!?キャプテン翼的な？ ・地域での集まりが少ない⇒教室等を開き活性化</li> <li>・横浜FCの認知度を高めたい⇒横浜FCを通してスポーツをする/支えることの楽しさ+区民全員の参加</li> <li>・運動したいけどできない(おっくう)相手も探せない⇒みんなでスポーツこどもも大人もおじいさんも</li> </ul>  |

# ③ 防災



## [ゴール]

**「まずは自助」一人も死なない その7日間**

### [乗り越える壁]

- ・ 停電、断水、ガス、通信、情報
- ・ 備蓄と避難場所が不足
- ・ 行政、医療、マンパワー、手助け

## [アクションプラン]

- ・ ソーラーパネル、防災井戸、トイレの準備
- ・ 孤立しそうな学生(キーマン)を地域にひきこむ。
- ・ 備蓄：正しい量と互換可能なもの、保存用食品の確認
- ・ 防災訓練、夜・夏・冬の実践訓練
- ・ 口コミ、アマチュア無線が出来る人・設備の確保
- ・ 笛を配る、玄関に貼る「助けて」マグネットシート
- ・ 最低7日分の個人の備蓄を奨励、行政への働きかけ

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次集会所→来られない人をどう支援するか・地域防災拠点の備蓄状況の把握・公表</li> <li>・ まずは自宅で備蓄。・備蓄場所と量・防災用井戸、トイレの確保、燃料、寝る場所、支援の手順・伝達</li> <li>・ 手回し発電機とラジオ←持っているけれどまわすの大変。自治会等で希望者に向けた共同購入は？</li> <li>・ 毎年防災訓練実施(←学校と連携するのは?)・近所のSOS対策、楽しみながら学ぶ、歩いて学ぶ</li> <li>・ 自分だけで無理なら家族、地域の人巻き込む。・正しいハザードマップ(住んでる地域に重点を置く)</li> <li>・ マンパワー(小中学生、高校生)、地域人としての意識を高める。←学生が大事！賛成。</li> </ul> |
| こまりごと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土砂災害、高潮対策、高盛土造成地、旧地形と現地形の比較(谷戸)</li> <li>・ 地域で備蓄できているか、実際に起きた時に混乱が起きないか心配。準備を地域の皆さんでできないか。</li> <li>・ 停電時、縦方向の移動ができない(人・物)、避難所で受け入れ不可(溢れる)</li> <li>・ 開館中防災時の対応、館として情報収集の場をどこに求めるか。また、公立的な発信。</li> <li>・ 戸建て住宅の多い地域、年代は均等。ネットワーク、情報、地盤、マンション、救助。</li> </ul>  |

# ④ ごみ



## [ゴール]

**ごみをゼロにする。全部資源にする。**

### [乗り越える壁]

- ・ 縦割り行政←市民運動
- ・ 法律上の問題
- ・ 捨てる人の意識

## [アクションプラン]

- ・ 家庭vs事業、行政との差をゼロに
- ・ 地域ごと、国ごとの共通ゴミルールの策定。SDGsのように見える化。
- ・ 教育、テクノロジー
- ・ 各家庭ごとに戸別バケツに入れて出す。バック・to・ザ・フューチャー

|       |  |
|-------|--|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭ごみから生ごみを回収→農地に配布 ・パッケージをやめる…量り売りに!!</li> <li>・ ペットボトルをやめたい←既にマイボトルあるが、さらに促進するアイデア</li> <li>・ 公園の活用→農園化 ・地産地消。</li> <li>・ 分別をしてリサイクル、プラ容器リユース、リユース。プラ袋使わないようなものの売り方を変える</li> <li>・ 戸別収集と燃やすごみの有料化 ・PETボトルを保証金制度にする←楽しく</li> </ul>  |
| こまりごと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋プラ。川にプラゴミが多く流れている(帷子川)。</li> <li>・ 世の中からゴミ自体をなくしたい。</li> <li>・ たばこなどのポイ捨て、空き地や自販機etc.に置き去りのゴミがある(コンビニ袋とかペットボトル等)</li> <li>・ 地産地消+自給自足+Re農耕民族 ・庭木もゴミになってしまう。</li> <li>・ 日々の分別が難しい。分別日を守らない人がいる。ゴミをカラスにあらされる。</li> <li>・ レジ袋がポリエステルで、良くない。風の日にはゴミが飛ばされる。・レジ袋をゴミ袋に使いたい。</li> </ul> |

# ⑤ つながり



**[ゴール]**  
個々のつながりが「バ」をつくる。

会議じゃなくしゃべり場 (二人が三人...へ)  
 あいさつ+α←大阪人コミュニケーションを学ぼう  
 点と点から、相手を否定しない。

- [乗り越える壁]
- 仕掛け人、担い手不在・仕掛け側の連携
  - 主催者の信用、偏見、金
  - PR方法
  - プライド

**[アクションプラン]**

- 場が必要と考える人(施設・行政職員から)。
- 区内歩くときは声を出す(あいさつ、会話)
- 誰でも自由に足を踏み入れられる場所。
- いつもある、もしくは定期的にある場所をつくる。
- 続ける、知ってもらう(広報)。
- つながりの必要性を感じてる人と知り合う努力。

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普段来てない人(どこにいる?)に“楽しい”を伝えられるようなお祭り。扉のない場所。</li> <li>• 地域の人たちが魅力を感じることをリサーチ。←まずニーズを知る、すごく良いと思います。</li> <li>• いつもそこに行けば何かやっている(「今日は〇〇ができます」)場をつくる。</li> <li>• ふらっと個人で足を運んでみたくなる場所。←どう壁を取り除くか、入りやすさが課題?</li> <li>• 食事や遊びがらみのこと。←そうですね。一つのきっかけ?楽しいが嬉しいお腹いっぱいも!</li> </ul> |
| こまりごと | <ul style="list-style-type: none"> <li>• マンション増えて人が流入(若い世代)、地元の人とつながりできてるのかな。</li> <li>• 個人情報で生活状況が不明(地区センターは踏み込みが困難)。</li> <li>• ご近所付き合い希薄、行政、施設の人と顔が見える関係を築けていない。</li> <li>• 自分の活動と地区のイベントがかさなったときの対応に悩むことあり。</li> <li>• 同じ世代で固まりがち。単身世帯が地域に入りにくい。→多世代がつながる</li> </ul>                                      |

# ⑥ みどり



**[ゴール]**  
身近なみどり(グリーンベルトマトリクス)を増やす  
 有志による川の清掃ができるように

- [乗り越える壁]
- 危険な場所になる、維持が難しい
  - 行きにくい
  - なぜ身近でないのか

**[アクションプラン]**

- 農業コミュニティ、農場。元気村×学校×空き家
- 小さい緑(プランター)
- 町内会、集まり
- OPENの良さ、CLOSEの良さ

|       |  |
|-------|--|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路にプランター等を設置して自分たちで緑を感じられる環境をつくる。←小さな積み重ね、大事!</li> <li>• 地域で緑を作ることを考える、話し合える場をつくる。町内会で!</li> <li>• 学校のプランターで花を育てる。←子供も楽しめればいい。子ども重要です。</li> <li>• ブロック塀をやめて生垣にする。• 空き家も緑に、屋上緑化</li> <li>• 大きな緑と緑をつなげていく。←自然がわかりやすい。</li> <li>• 緑・花による住みよいまちづくりを地域に拡げる。区民が誰でも行ける緑の広場を目指す取り組み。</li> </ul> |
| こまりごと | <ul style="list-style-type: none"> <li>• おいしい野菜、豊かな森を次世代に!</li> <li>• マンションが増えて、緑が失われていく。</li> <li>• 町に緑が少なくなっている。動物が少なくなっている。公園での交流の場があったらいいね。</li> <li>• 道路の端の雑草が増えている。ハクビシン、アライグマが増えている。</li> <li>• 大きな木(ケヤキ)が切られてしまった。公園に子どもの遊びのための滑り台等がなくなっていく。</li> <li>• 公園内の緑を活用しにくい、畑が近所がない。登ることのできる木がない。</li> </ul>                    |

# ⑦ 食と農



**[ゴール]**  
安全な食材と安全な食を作って届ける



[乗り越える壁]  
 ・ 農薬、添加物 ・ 農家の減少  
 ・ 商店街の減少、弱体化  
 ・ 食の格差・アクセス不便（坂が多い）

**[アクションプラン]**

- ・ 商店と個人が繋がりたい。「保土ヶ谷弁当」は使えないか？
- ・ 農家の方の横のつながりを作る。給食室（調理室）
- ・ 商店街に弁当を運んでもらう
- ・ 安全な食材を売る店を口コミで広げる。  
→原産地：安心できる農家の表示
- ・ 農業会社を作る。子どもの農業体験を多く実施する。

|       |  |
|-------|--|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校の給食設備を使った食事会の実施50, 60, 70歳など記念の年にやってみる！</li> <li>・ 食堂との届ける中間所（サポートセンター）・子どもの農業体験。・引き売り手を増やす</li> <li>・ 農業会社←時給とか給料・モクサクを広める→害虫を駆除する。・「食のウーバーイーツ」あり？</li> <li>・ 安全な農薬の開発、保土ヶ谷に安心できる農家をたくさん作る。農家の後継者を多く作る。</li> <li>・ 年をとっても安全な食材を作り届けてもらう地域（保土ヶ谷）農家と食する人たちをつなぐ</li> </ul> |
| こまなこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農薬・添加物が多量に使われていると思う。（無農薬、無添加）・農業がなくなる（魅力を伝える）</li> <li>・ 輸入食物が増えている（国内産が減っている）・農・温かい冬。農業をする人はいる？</li> <li>・ 食の安全、農、産地の確保。農業の高齢者の食事、アトピー、八百屋さんが減っている。</li> <li>・ 食をささえる商店街の弱体化。地域の農家と保土ヶ谷区民とつながる場がほしい。</li> <li>・ 地域の人が集える食の場（飲食の場）がない。農と住民のつながりの場</li> </ul>                |

# ⑧ 国際



**[ゴール]**  
お互いフェアな関係



[乗り越える壁]  
 ・ 差別、固定観念 ・ 言葉、言語  
 ・ 無関心 ・ 続けること  
 ・ きっかけ ・ 場所

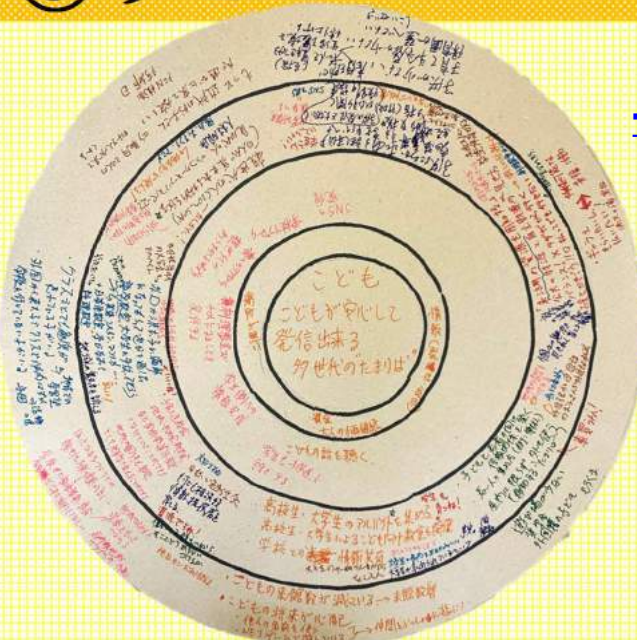
**[アクションプラン]**

- ・ キーパーソンを通じた継続的・定期的なイベント  
(マルシェ、カフェ)などの開催。
- ・ 地域の人も外国人も発信できるような拠点に。
- ・ 交流を通じての偏見をなくし。

～お互いを認めあう関係づくり&次世代の人材育成～をする保土ヶ谷

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区役所から交流イベントの発信、パーティーひらく。まずは情報収集。・多言語ボランティア募集</li> <li>・ 暮らし方を話す、居場所作り、共通の話題。老若男女が来れるように。</li> <li>・ お互いの国の外国語教室 ・外国人向けのチラシ作る←入ってきやすいと思います。大事です！</li> <li>・ WEショップでコミュニケーション、ジンジャーティー（フェアトレード品）をすすめる</li> <li>・ SNSで地域の知り合いを作る。・インスタで作った食事をアップして知ってもらう。</li> <li>・ 町内会に入ってもらう。いろいろな国のあいさつを覚える、教えてもらう</li> </ul> |
| こまなこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な国の文化がわからない。もっといろいろな国の人と仲良くしてみたい。</li> <li>・ 外国人の人とイベントをしてみたい。</li> <li>・ 中国人が多いが交流がない。・フェアな社会、コミュニケーションが分断された世界</li> <li>・ 留学生とのコミュニケーションが取れるようになったらいいな。お互いの文化を共有したい。</li> </ul>  |

# ⑨ 子ども



**[ゴール]**  
子どもが安心して発信できる多世代の“たまりば”



[乗り越える壁]

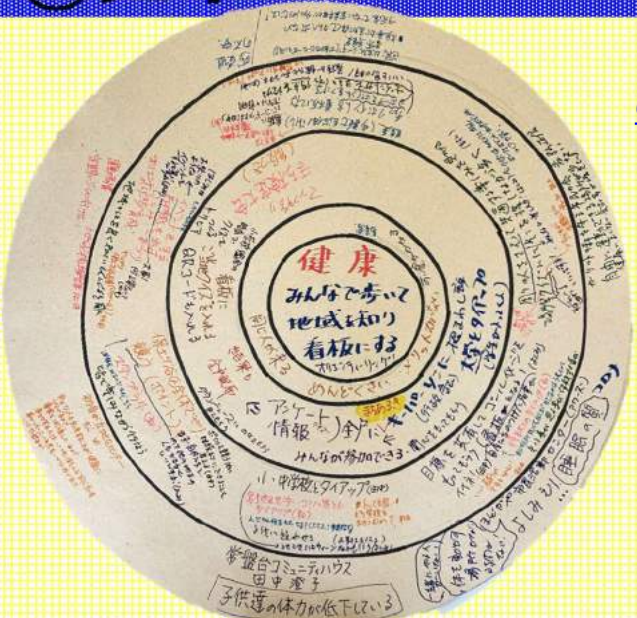
- ・ 資金、大人の価値観
- ・ 情報（発信、受信）
- ・ 場所がない

**[アクションプラン]**

- ・ 子どもの話を聞く
- ・ 学生も子ども達に話をする
- ・ SNSの発信
- ・ 学生側への情報発信
- ・ 学校へアプローチ、親へアプローチ、親世代の集まれる場所
- ・ 料理教室など、+αになることを発信する
- ・ 地域で小学校・中学校などに小さく集まれる

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校、大学生のアルバイトを集める。・大学生のサークル活動を支援。大学生の専門性を活かせるといい。</li> <li>・ 子どもと若者の信頼関係を築く。屋内に限らず外も使う。（移動する“たまりば”）←車を買うか！</li> <li>・ 地域の食堂に行ってみる。寄付金使う。 ・ 外国語が母国語のお子さんが外国語教室。</li> <li>・ 子ども達が求める話し相手。子どもの発信をひたすら聞く役割の設定。←SNSを使う</li> <li>・ 親世代の人（20～30代）の人が集まれる場所を作る。 &amp; 10代の人→コワーキングスペースで。</li> <li>・ 外国から来た子どもたちに講師になってもらって、遊びを通じた語学教室、大学生に手伝ってもらう。</li> </ul> |
| こまごま  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもの将来が心配。他人の名前を使う、ネットゲームで遊んでいる→仲間と一緒に遊ぶ</li> <li>・ 遊び場が少ない。奨学金。外国籍のこども。 ・ 外国から来た子でクラスで仲間はすれ。⇒活動の場</li> <li>・ 子どもが少ない、子育て年齢層が少ない、保育園が選べない。 ・ クラスで勉強が遅れている子がいる。</li> <li>・ 虐待を防ぐ、若い人を引き付ける生活環境（支援）を作り上げる。</li> </ul>  |

# ⑩ 健康



**[ゴール]**  
みんなで歩いて地域を知り、看板にする  
オリエンテーリング



[乗り越える壁]

- ・ めんどくさい
- ・ メリットがない
- ・ お金がかかる
- ・ 騒音

**[アクションプラン]**

- ・ キーパーソンに根回し重要（行政含む）
- ・ 大学とタイアップ（学生が入ってくる）  
⇒アンケート、クイズ、情報を全戸に。街歩き。
- ・ みんなが参加できる、関心を持ってもらう  
⇒タウンニュースに掲載してもらう、来てもらう。
- ・ 看板にご当地クイズを入れる。QRコードを入れる。
- ・ 小学校総合の時間でクイズを作る、トリビア。
- ・ マップ作り、まち検定大会（級つき）

|       |   |
|-------|---|
| アイディア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントをする←はじめはお祭りのようなイベントをすると良いですね。</li> <li>・ 小中学校や各地区センター、コミハともタイアップ。 ・ 保土ヶ谷区全体でやり、競う（ポイント）</li> <li>・ チェックポイントを看板にする。ボーナスポイントを付ける。ポイントがたまると何か得点を設ける。</li> <li>・ 目標を共有してゴールイメージを持ってもらう。（自分たちのつけた名前が看板となる）</li> <li>・ 周りの人を誘って共通する楽しみを見つける。クイズを子どもが出題したらよいね。</li> <li>・ 口コミ、一本釣り、オリエンテーションのリーダー育成。←地域をよく知っている人に話を聞く。</li> </ul> |
| こまごま  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業を開催しているが、参加する人はいつもほとんど同じ方。こもっている方をいかに外に出せるか。</li> <li>・ 子どもの体力が低下している。体を動かす場所がない、時間がない、一緒にやる人がいない。睡眠の質。</li> <li>・ 自由に運動できる場所が少ない、健康に良くない食品等が増えている。</li> <li>・ 祖母が足が痛くて外へ出ない→元気でない高齢者が多いのでは？ ・ 感染症の不安、コロナ</li> <li>・ 運動習慣、定期的にジムに行けない。</li> </ul>  |



# 会場のみんなから、 みんなへメッセージ (アンケートより)

お疲れさまでした。  
皆さんの情熱を感じました。

年代の違う人と対話出来てよかった。  
楽しかった、またお会いしたい。



## 今より一歩前に進んで みましょう。

楽しくワクワク、  
それぞれ元気にやりましょう。

創造的に魅力（保土ヶ谷の）  
を發掘及び作り出そう。

公的な立場と私的な立場では、価値観が  
違うことに気づけて良かったです。

豊かな發想で資源を活かして  
夢を実現したいですね。

地域民力のアップ



熱く語り合えて良かったです。

ご一緒させてもらったことに  
感謝です。

つながり創りでぜひ実行し  
てほしいと思った案は、  
つき並な「あいさつ運動」

次の行動に行きたいね。

これからのほどがやは  
楽しくなりそう、  
楽しくしよう！



保土ヶ谷の10年後に  
夢を持ってました。

皆さん保土ヶ谷区の事を  
考えていることが良く  
わかりましたね。

私も住み続ける町です。  
いろんな人が集まって  
ほどがや作っていきましょう。

温かい地域、これからも  
育んでいきましょう。



頑張ろう、特にボランティアで  
市民に幸せを送ろう。

よこのつながりを  
絆として高め合おう。 保土ヶ谷区を大事にする  
人で安心した。



日常から少しずつ変える  
ことが重要だと思います。

本気の防災の話し合いは楽し  
かったし、発見もありました。

楽しみながら事業や  
地域活動を進めていきましょう。

人が集まる、人を集める為には  
ビジョンが必要だということが  
共有されました

ご苦労さんでした。



またどこかでお会いできて、一緒に何かできる  
機会ができることを夢見ています。

第2回ほどがや会議で  
会いましょう。




## 吉田建治さん NPO法人日本NPOセンター事務局長

## ゲストのみなさん からのメッセージ

実は世の中は空前の「社会課題解決ブーム」がきていて、地方創生だとかSDGsだとか、次から次へと新しい言葉に出会います。それぞれに大切な意味合いがありますが、1つの共通点があるように思います。それは「**地域の課題をどうとらえ、どう解決するのかはその地域の人考えるしかない**」ということ。そのためには地域でくらす方々の建設的な対話が欠かせません。これは言うは易し、行うは難しの典型のようなことです。

ほどガヤ会議を準備からお手伝いする中で、みなさんが取り組みを地道に積み上げてこられたことを知りました。ほどガヤ会議当日、それが結実したように、老若男女、市民や行政、企業といった立場を超えて、いろんなテーマで湧き出るように話し合いがなされていました。すぐに結果が出ないかもしれませんが、それでもこうした地道な話し合いを積み重ね、つながりを広げることが、きっとすばらしい保土ヶ谷を作る力になるんだろうと確信半分、期待半分。今後の保土ヶ谷を楽しみにしています。



## 鷺山龍太郎さん 防災士、元横浜市小学校校長




### 皆さんのアイデアと思いをゴールに向けてアウトプットしましょう

ほどガヤ会議では、総合ファシリテーターのようなお役をいただき、ご参加の皆様と有意義で熱い時間を共有することができました。**各テーマにおける「ゴール」を設定し、最終的にアクション案をアウトプットするように、会議をデザインする。**それぞれのグループのファシリテーターさんが実によく会議の筋道を立ててグループのみなさんが納得のいくゴールに達することができるように進められていました。

新しい試みとして、丸いダンボールの「円卓ん」をツールに、思いやアイデアの共有、同心円の真ん中のゴールに向かって外堀を埋めるように会議を盛り上げていくことができました。また、途中「円卓ん」を回転して、考えを学び合うこともできました。実りある大変素晴らしい会議だったと思います。この会議の進め方を地域や職場で、ぜひ活用していただければと思います。



## 竹迫和代さん 参画はぐくみ工房代表



「地域に仲間がいる」。これほど豊かな人生はないと私は思っています。

### 地域に仲間がいる皆さん！Let'sチェック！

- 立ち戻れる原点を共有できていますか？
- ひとりひとりの長所が活動に活かせていますか？
- リーダーが固定していませんか？
- NOと言える雰囲気はありますか？
- ワクワクしてますか？

これから地域で仲間を作りたいと思っている皆さん！ぜひ、聴き上手になってください。**聴くことができる人の周りに人は自然と集まり、自分の想いを語ります。**

地域への愛や想いのボトムアップの上に成り立つ“保土ヶ谷区の未来”を、これからも応援しています。

# ほどガヤ会議を 終えて…

みんなの地域への思いと、  
保土ヶ谷を面白くするアイデアが  
たくさん生まれる会議になりました。  
またこれからの日々は別々かもしれませんが、  
それぞれできる事から一歩を踏み出しませんか。

## 😊 近隣地域の施設に行って情報収集したり、 イベントや講座に参加してみる！

☞ 保土ヶ谷区では、地域の企画づくりにチャレンジする「はぐくみ」塾が開講されます。  
その他、各施設の広報紙等にイベント・講座情報が掲載されています。  
また、施設にはそこにしかない情報もあるので、スタッフにお声がけください。



はぐくみ塾HP

## 😊 既に参加している活動があれば、 その中で新しいアイデアを試してみる！

☞ 「ほどガヤ会議」のアイデアを試す場がある方は、アイデアを活用してみてください！  
自分の団体だけでなく、他の活動グループと意見交換したり一緒にイベントをすることも  
新しい発見があるかもしれません。地域の補助金・助成金も活用してみましょう。  
協働や活動資金調達などのご相談はアワーズでも伺います。

## 😊 仲間を集めて新しい活動をつくっちゃう！

☞ 「ほどガヤ会議」のアイデアを使って、新しい仲間と活動をつくる機会を  
保土ヶ谷区やアワーズでも検討していきます。個人の取組みも大歓迎です。  
また活動できるようになったら、一緒に動きましょう！



次回の「ほどガヤ会議」で  
また続きを話しましょう😊



## 第1回ほどがや会議開催報告書

令和2年5月発行

作成：ほどがや市民活動センターアワーズ

主催：ほどがや市民活動センターアワーズ

保土ヶ谷区

